

第2章 平戸市の夜間景観の現状と課題

2-1. 主たるランドマークと観光ポイントの夜間景観の現状

平戸城



平戸ザビエル記念教会



平戸オランダ商館



寺院と教会の見える道



松浦史料博物館



オランダ堀



2-2. 眺望景觀の現状

崎方公園下遊歩道からの眺望



市道平戸・志々伎線からの眺望



平戸市役所第2駐車場からの眺望



平戸港交流広場からの眺望

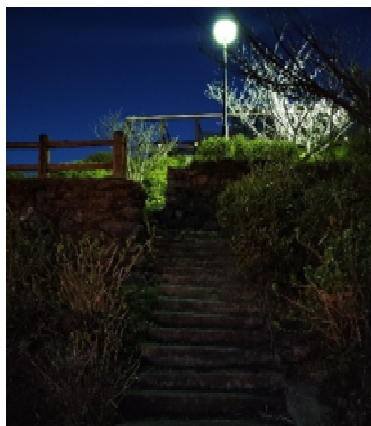
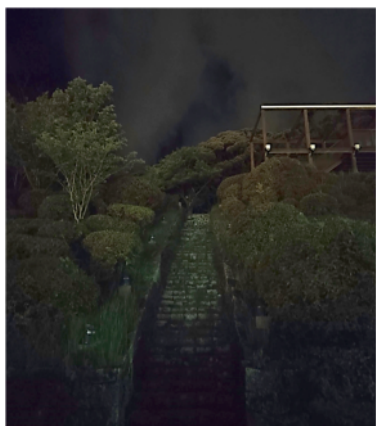


亀岡橋からの眺望



2-3. 公園・ポケットパークの現状

崎方公園



崎方公園下遊歩道



オランダ公園



平戸温泉うで湯あし湯



平戸港交流広場



2-4. まちなみと商業エリアの現状①

県道田ノ浦平戸港線（崎方町周辺）



県道田ノ浦平戸港線（浦の町周辺）



県道田ノ浦平戸港線（宮の町周辺）



2-4. まちなみと商業エリアの現状②

県道田ノ浦平戸港線（木引田町周辺）



県道田ノ浦平戸港線（魚の棚町周辺）



2-4. まちなみと商業エリアの現状③

市道亀岡・新町線（新町周辺）



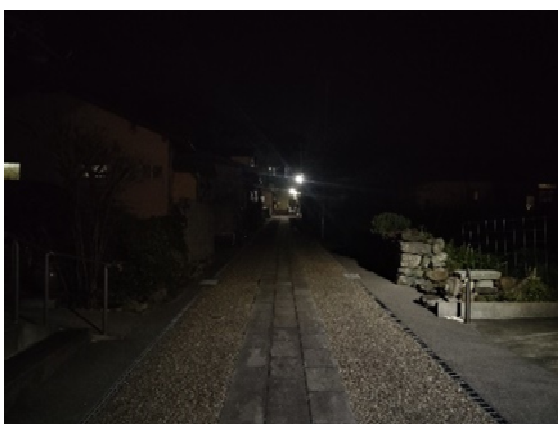
国道 383 号、市道亀岡・新町線（新町周辺）



市道平戸・志々伎線（築地町周辺）



市道職人町二号線（職人町周辺）

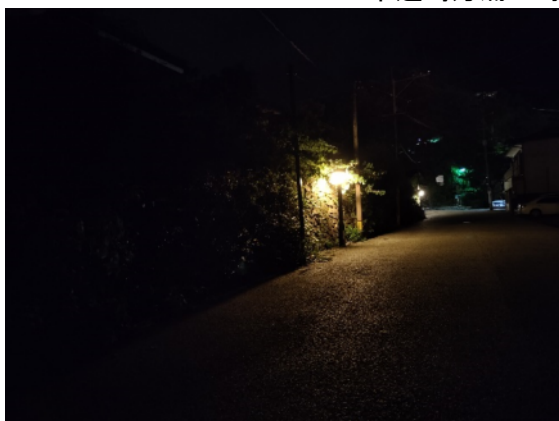


2-5. 歩行空間の現状①

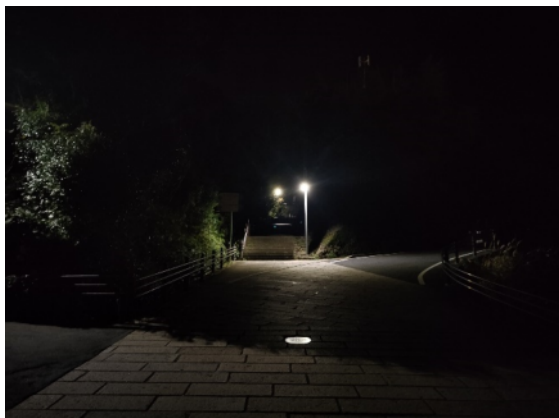
市道松浦資料館線（歴史の道）



市道崎方浦の町線（大ソテツ通り）

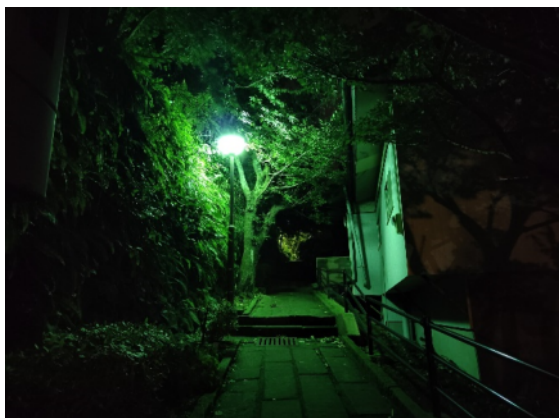


市道御館線（旧保健所跡地付近）

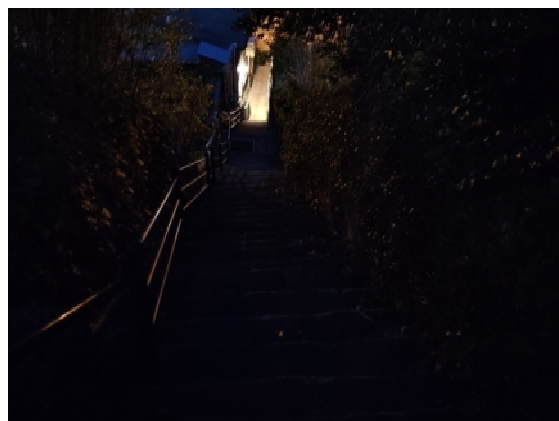


2-5. 歩行空間の現状②

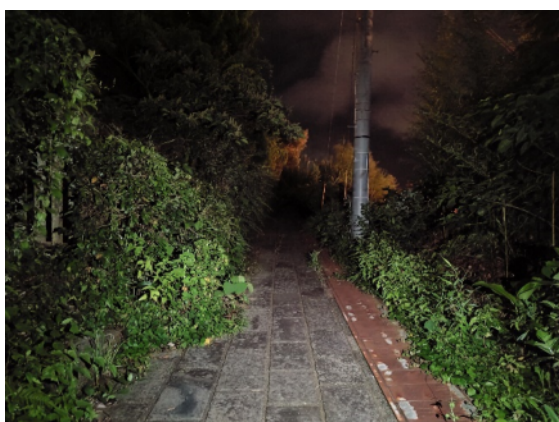
崎方公園下遊歩道（仮称ハーバービューロード）



崎方公園下遊歩道（仮称ハーバービューロード）



崎方公園下遊歩道（仮称ハーバービューロード）



2-6. 路地の現状

崎方町



崎方町



崎方町



2-7. 道路照明の現状①

市道平戸・志々伎線（海岸通り）



平戸市観光交通ターミナル前



国道 383 号（大手の坂前交差点）



市道亀岡・新町線



市道土肥町線



2-7. 道路照明の現状②

市道臨港線（亀岡橋）



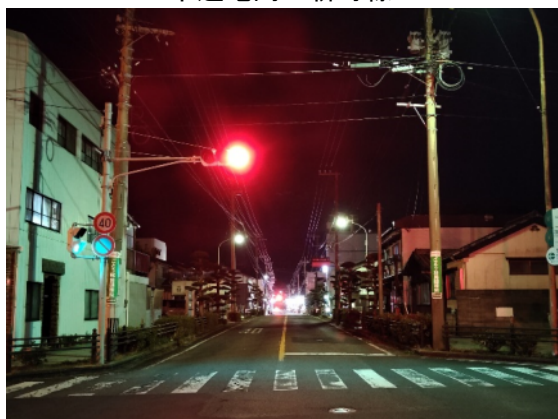
市道臨港線



市道平戸・志々伎線



市道亀岡・新町線



市道亀岡上町線



市道亀岡・木引田線



2-8. 河川景観の現状

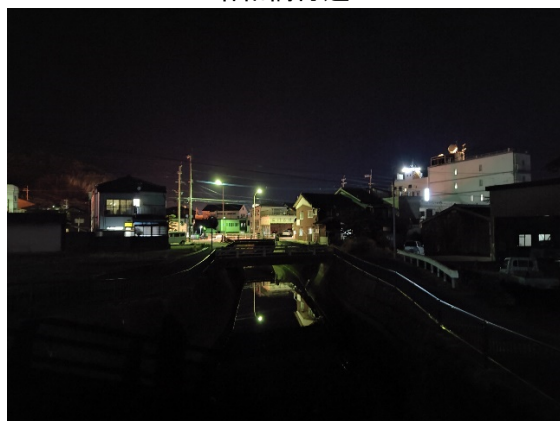
幸橋付近



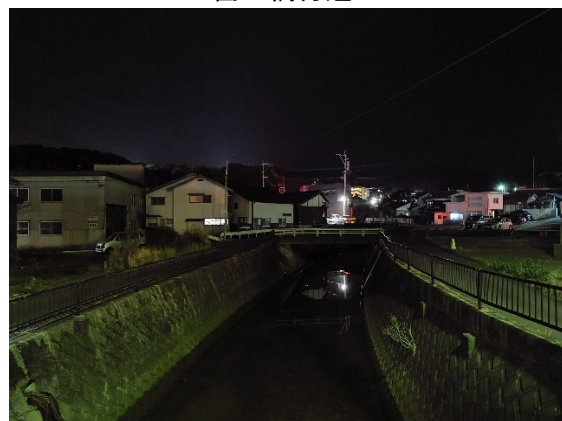
天神橋付近



昭和橋付近



富田橋付近



鏡川橋付近



大手橋付近



2-9. 平戸市の夜間景観の課題

本市における夜間景観の現状からは、以下の内容が読み取れます。

- ①平戸城及び平戸オランダ商館、平戸ザビエル記念教会は常設のライトアップが実施されており、夜間景観形成に寄与している。
- ②オランダ堀や寺院と教会の見える道など日中の観光ポイントの多くが、夜間には照明が無く、危険な暗がりとなっている。また、彫刻や工作物などへのライトアップが無く、夜間にそぞろ歩きを楽しめる雰囲気は無い。
- ③眺望夜景は意識されておらず、良好な眺望夜景となっていない。特に、海岸通りの街路灯の白色グレア、平戸城側の水際景観の改善が望まれる。また、眺望を楽しめる崎方公園につながる山側の道は、危険な暗がりとなっており来街者が眺望を楽しむことは難しい。
- ④平戸湾水際の地上からは、良好な港湾夜景は感じられず（平戸城への見上げ除く）たたずめる印象は希薄である。座れる環境も少ない。
東西南それぞれの視点場からのビュー及び視点場付近のあかりの改善が望まれる。
- ⑤主たる道路環境は一般的であり、車両の通行に支障のある暗がりはないが、徒歩での歩行には不安を感じる暗がりが散見される。また、全幹線道路域において観光地魅力に乏しい。
- ⑥路地や山側の園路には照明が不足しており、危険な暗がりが散見される。
- ⑦崎方公園やオランダ公園など主たる公園は暗く、夜間には使用できない。平戸港交流広場は付近からの明るさは多少あるが、魅力的な水辺とはなっていない。
- ⑧平戸城下旧町地区の県道田ノ浦平戸港線の道路照明は明るすぎ、グレア（まぶしさ）も高く、まちなみの印象を阻害しており改善が望ましい。
- ⑨崎方町をはじめとする平戸城下旧町地区では「ほのあかり事業」によって、民間修景町屋のライトアップ整備が進んでいるが、道路照明のグレアが高く建物魅力を阻害している。
- ⑩エリア全域の照明色温度は、ナトリウム灯(2200K)、白色(LED・水銀)(5000K)、電球色(3000K)が入り混じっており観光地としての統一感に欠ける。歴史のある情緒的な観光地として電球色での統一が望ましい。
- ⑪河川付近の歩道や橋梁は暗がりが多くなっており、安全安心の点からも改善が望まれる。